

平成25年度 行政評価 施策カルテ

施策名	3 多文化共生の推進
-----	------------

施策主管課	国際交流プラザ	総合計画記載頁	145ページ
-------	---------	---------	--------

1 施策の位置付け

政策の柱	VI 持続的発展が可能な都市の自治基盤を確立するために	政策名 (基本施策名)	25 市民の相互理解と共生のこころを育む	政策の達成目標 (基本施策目標)	家庭、地域、学校、事業者、行政等の十分な連携のもとで、市民の誰もが思いやりのこころを持ち、差別や偏見を持つことなく、相互理解と共生のこころが育まれています。
------	-----------------------------	----------------	----------------------	---------------------	--

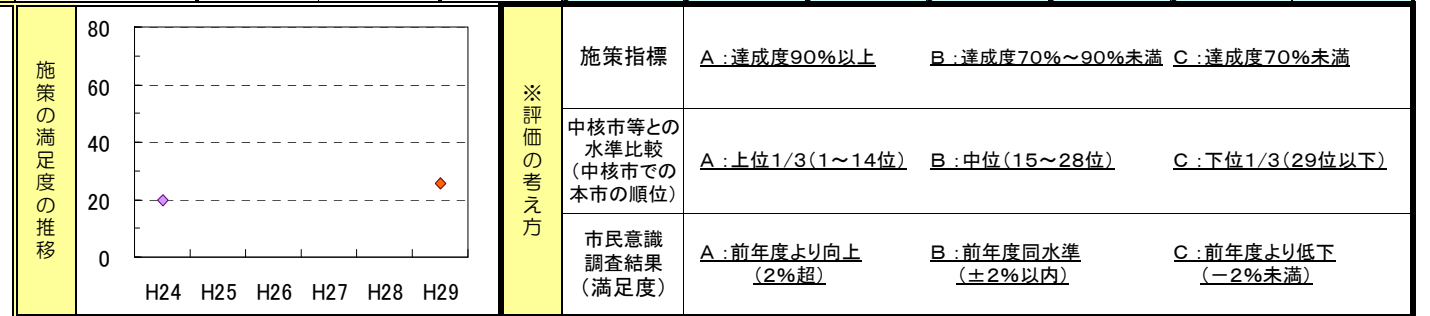
2 施策の取組状況

施策目標	市民と在住外国人が、相互に理解し合い、共生の意識を持って、安心して暮らしています。
------	---

① 施策指標	指標名(単位)		H24	H25	H26	H27	H28	H29 (目標年)	評価	② 中核市等との水準比較	指標名(単位)		H24 (H23.3現在)	H25	H26	H27	H28	H29	評価				
	指標1	在住外国人を支援する民間ボランティア団体の会員数(人)	単年度目標値	765	790	815	840	865			900	A	中核市平均	実績値									中核市での本市の順位
現状値			755人	実績値	759																		
目標値(H29)			900人	単年度の達成度	99.2%																		
① 施策指標		単年度目標値	実績値							③ 市民意識調査結果	中核市平均			中核市での本市の順位								中核市での本市の順位	
			現状値		実績値																		
			目標値(H29)		単年度の達成度																		
① 施策指標	単年度目標値	実績値							H24 (現状値)			調査結果	19.7%							評価			
		現状値		実績値																			
		目標値(H29)		単年度の達成度																			
① 施策指標	単年度目標値	実績値								H24 (現状値)	調査結果		19.7%								評価		
		現状値		実績値																			
		目標値(H29)		単年度の達成度																			

※『①施策指標』の単年度の達成度の計算について

★ 増進型の指標(目標値が基準値より増加することが望ましいもの)	$\frac{\text{実績値}}{\text{単年度目標値}} \times 100 (\%)$
★ 減退型の指標(目標値が基準値より減少することが望ましいもの)	$\frac{\text{単年度目標値}}{\text{実績値}} \times 100 (\%)$



取組内容と成果・成果の要因、進捗の状況

施策指標	<ul style="list-style-type: none"> 各種の情報や活動場所の提供などの支援により、「在住外国人を支援する民間ボランティア団体の会員数」は着実に増加してきた。 コミュニケーションに課題を抱える在住外国人のための多言語での情報発信や生活相談、ソーシャルコーディネーター事業の実施などにより、在住外国人に対するきめ細かな支援体制が整ってきている。 在住外国人と日本人の相互理解を進めるため、多文化共生の地域づくり事業を進めているが、事業推進の核となるキーパーソンの発掘には至っていない。 	市民満足度		進捗の状況	概ね順調
------	---	-------	--	-------	------

3 施策を構成する事業の状況

No.	事業名	戦略P・主要事業	事業が属する総合計画の構成事業名	事業内容		開始年度	施策目標を達成するための取組方針
				対象者・物（誰・何に）	取組（何を）		
1	姉妹・文化友好都市との交流事業	○	在住外国人と市民のネットワーク化の支援	市民	各姉妹都市との相互派遣・受入事業の実施	S62	市民が主体的に姉妹都市との交流に参画できるようにするため、姉妹都市に関する情報発信を強化し、姉妹都市交流に対する市民の意識の高揚を図る。
2	市民交流活動推進補助金	○	在住外国人と市民のネットワーク化の支援	民間団体	姉妹・文化友好都市との交流事業、在住外国人の自立化支援、国際理解・国際協力に関する事業を行う民間団体の事業支援	H13	団体の活動を活性化させるため、制度の周知に一層努め、団体の活動の支援を行う。
3	国際交流協会補助金	○	在住外国人と市民のネットワーク化の支援	宇都宮市国際交流協会	補助金の交付（事務局費、事務費、自主事業費）	H9	在住外国人と市民のネットワーク化の支援のために、在住外国人と日本人の相互理解の促進や日本語学習支援などの在住外国人の自立化に向けた活動をしている国際交流協会の機能を強化するため、支援を継続する。
4	多文化共生の地域づくり事業	○	多文化共生の地域づくり事業 在住外国人と市民のネットワーク化の支援	市民及び在住外国人	国際理解講座の開催や地域イベントへの参加など	H21	多文化共生の意識啓発に努めるとともに、在住外国人の地域活動への参加を促進し、日本人住民と在住外国人の相互理解を図る。
5	日本語講師養成事業		在住外国人の自立化支援事業	市民	在住外国人に日本語を教えるボランティアの育成	H19	在住外国人が地域の一員として、安心して生活できるよう、日本語学習支援に努める。
6	多文化共生ソーシャルコーディネーター事業		多言語による相談事業	在住外国人	複雑化する外国人相談案件に対して、専門性のある視点やメンタルケアの技法を用いた個別支援の実施	H21	在住外国人の抱える生活上の悩みを軽減し、安心して生活できるよう、相談体制の充実に努める。
7	外国人転入者支援事業		多言語による情報発信事業	在住外国人	暮らしの便利帳、指差し会話帳、生活マップなどをセットした「転入者パック」の配布	H23	在住外国人が生活に必要な情報を入手し、生活の利便性が向上するよう、情報提供の充実に努める。

4 今後の施策の取組方針

今後の方向性	
<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆経済の停滞や東日本大震災の影響で、在住外国人の雇用環境が更に厳しくなっていることや外国人相談案件が複雑化していることから、在住外国人の自立化のための支援を一層充実させていく必要がある。 ◆在住外国人の定住化が進む傾向にあるとはいえ、外国人と身近に接する機会のない市民も多いことから、地域や大学など、国際交流団体や外国人支援団体以外の団体とも連携して事業実施に取り組む必要がある。 ◆交流の担い手となる市民団体が、活動の停滞や後継者不足の状態にあることから、市民が主体的に姉妹都市交流に参画できる環境を整えていく必要がある。 	<p>方向性</p> <p>〈施策全般〉 ◆中核市の中でも外国人住民数が多い(中核市中9位)ことから、多文化共生社会の実現に向け、在住外国人の自立化に向けた支援や在住外国人との相互理解の促進に一層取り組んでいく。</p> <p>〈主要事業〉 ◆多文化共生を担う市民団体の活動や人材の発掘、育成のための補助事業等に重点的に取り組んでいく。 ◆市民を主体とした姉妹都市交流を進めるため、姉妹都市に関する情報発信を強化し、姉妹都市交流に関する市民の意識の高揚を図る。</p> <p>〈その他個別事業〉 ◆在住外国人の日本語学習環境の充実や多文化共生ソーシャルコーディネーターによる個別支援など、在住外国人の自立化に向けた支援を一層充実する。</p>